

福地温泉 森をひらくプロジェクトの活動 2/3

| 日にち 名称 | 参加者(人数) | 目的 | 内容と結果、今後について |
|--|--|--|--|
| 2023.9.27 森林浴 | 案内人:森とひとと木白田氏 PJメンバー 外部(4名) 地元の方々(1名) 合計14名 | 「森林浴」ができる森にするための現地フィールドワークと体験会 | <ul style="list-style-type: none"> 森に入り込むのではなく、森の入り口として、親子で楽しめる森林浴やネイチャーゲーム、森の劇場、発見を目的にしたアクティビティなど外に開かれた森として初めて森を気軽に楽しみたい人たちに向けているという意見が多かった。  |
| 2023.10.29(番外) 樹木医診断 (森のある暮らし推進協議会でご紹介いただきました) | 樹木医:門造園土木 松井社長 PJメンバー(7名) 合計8名  | 倒木の危険のある危険木の特定と地形や植生に合わせたフィールド整備を行うための基礎的な調査  | <ul style="list-style-type: none"> 危険木20本程度…下の樹皮が動物などでめくれ養分が行き渡らない状態(杉の木で多い) 苔が生えている状態→下部で伐採の方向、キノコが生えない倒木は撤去 樹種…日当たりが悪いところは杉を中心に20本程度(下はオニシダが茂っている) 日当たりが良いところはブナ、カエデ、モミジ、桑を中心とした広葉樹が30本程度(下はクマザサが茂っている) 危険木及び代表的な樹種については札付けを行った 調査結果はフィールドマップに反映 危険木の伐採により日当たりが良くなり、地形に合わせた木々が育つようになる。また、シダも適度な量になっていく。 コンパクトな地形の中で針葉樹から広葉樹まで種類が豊富⇒森のひらき方マップにどんどん記録 樹齢40年程度の比較的若い木々が多く、日当たりが良くなるとまだまだ育つ。 カエデの種類が多い。 人が少し手を入れて(危険木の伐採)、後は自然に任せると木々が育ち良い森になっていく。 樹木医の松井社長はランドスケープアーキテクトの資格も有しており、今後の整備も協同していきたい。 |